

新入社員が育てたお米を子ども食堂へ寄贈

新入社員研修として始めた米作りも今年で2年目
豊中市と子ども食堂に対し、下記日程で寄贈式を行います

[寄贈式]

日 時：令和6年12月12日（木）11時～

場 所：豊中市役所第一庁舎3階 秘書課第一応接室（豊中市中桜塚3-1-1）

{子ども食堂への配布}

日 時：令和6年12月12日（木）13時～

場 所：NPO法人ZUTTO 居場所ぐーてん（豊中市庄内西町4-25-5）

私たちは北大阪で7店舗とサービス工場を運営するトヨタのカーディーラーです。昨年より大阪府能勢町の天王地区で、使われていない農地を借りて伸び放題の雑草を伐採し、米の苗を植え、育て、収穫するという新人研修を始めました。

昨年、豊中市社会福祉協議会を通じて、収穫したて・精米したての美味しい米を子ども食堂へ寄付をしたところ、シングルマザーのご家庭から涙なくては読めないような感謝のお手紙をいただきました。

今年は200kgの新米を5kgずつに分け、特定非営利活動法人とよなかESDネットワークを通じて子ども食堂に配布を行います。



【取り組みを開始したきっかけ】

研修のために大阪府の"てっぺん"＝豊能郡能勢町天王で古民家を取得したことがきっかけです。当初は農業研修を行うとは全く考えてもいませんでした。古民家を取得したあと、「トヨタが何の目的でこんなところに来たんだ」「何かおかしいことをしたら山の水も使わせない」など、排他的な村民の大反発に遭い、周囲の土地を押さえられたり、集会で村民全員への理由説明を求められたりしました。

会合を重ね、掃除や行事に参加する中で、徐々に心を開いていただいた村民の方々から「先祖代々農地は守れと言われてきたが、子どもたちも出ていって帰ってこない、高齢化する中で農業をし続けるのも辛い、協力するから自分たちの農地を有効利用してくれないか」という相談があり、新入社員研修として「苗を植え米を作る」という農業体験を始めてみることにしたのです。

当初、研修で収穫した米は自社のお客様に無料配布をする予定でしたが、豊中市社会福祉協議会に取組を話したところ「ぜひ地元の子ども食堂にも美味しい米を届けてほしい」という要望があったため、寄贈させていただくことにしたのです。



【昨年の成果と展望】

子ども食堂を通じて新米を受け取ったシングルマザーの方々から、たくさんの感謝の手紙をいただきました。

「特売の日に子どもが大好きな4個入りの薄皮パンを買うのですが2個残します。理由を聞いたら美味しいから明日に残してるねんと言われ、子どものいないところで泣きました。せめて大好きなお米をたくさん食べさせてあげたいと思います」

「自分って暴力から逃げていることを忘れるほど落ち着いた日々を過ごしています。食糧支援をしていただくことに感謝です。あともう一步、もう少し生きていこうと覆います」「大げさではなく、私たちが命をつなぐことができているのはご支援いただいているみなさんのおかげです」

この手紙は全社員で共有し、子どもの貧困や老々介護、ヤングケアラーなど社会的貧困に対し、自分たちが何をできるかということ在全社員合宿のテーマとし、みんなで真剣に話し合うことができたのも大きな成果でした。

大阪府能勢町天王地区はまだまだ人口の減少・高齢化が進み、農家を辞めたいと考えている農家さんも多いです。私たちと同じような取組みに共感して下さる企業や団体をもっと増え、遊休農地を使用して新人が作った新鮮な米が、それぞれの地元の子どもの貧困家庭に多く届くような未来を描いています。



【企業概要】

社名：ネットヨタニューリー北大阪株式会社

本社所在地：大阪府豊中市稲津町2-4-1

設立年月日：1961年3月

資本金：5千万円

従業員数：150名

HP：<https://www.netznewly.co.jp/>

【報道機関からの問い合わせ先】

ネットヨタニューリー北大阪株式会社 広報室

担当：山本一夫（やまもとかずお）

TEL：080-5776-7207

n809818@netznewly.co.jp

【寄贈式への参加者】

ネットヨタニューリー北大阪株式会社

広報室室長：山本一夫、新入社員：金銅彩奈、北平恵梨

【寄贈式への取材について】

寄贈式当日の取材を希望される場合は、12月11日（水）15時までにご連絡ください。よろしくお願いいたします。